

## 滋賀工場

### 1 工場概要

- ▶ 住所 〒520 - 3211 滋賀県湖南市高松町2番1
- ▶ 従業員数 103名 (外部工・パートなど非従業員28名含む)
- ▶ 敷地面積 本工場 : 128,305m<sup>2</sup>  
飛び地 : 51,577m<sup>2</sup>

### 2 事業概要

- ▶ 事業内容 住宅関連設備機器(浄化槽・浴槽)の開発・製造・販売

- ▶ 主要製品



FRP製浄化槽



FRP製浴槽

### 3 工場変遷

- |              |  |
|--------------|--|
| 昭和45年 (1970) | 工場完成 操業開始                                      |
| 昭和45年 (1970) | SMC法によるFRP浴槽の生産を開始                             |
| 昭和46年 (1971) | SMC法によるプレス浄化槽の生産を開始                            |
| 昭和48年 (1973) | カラーベスト工場を新設し生産を開始                              |
| 昭和62年 (1987) | カラーベスト工場、新ラインを増設                               |
| 平成 8年 (1996) | SMC法によるプレス小型合併処理浄化槽の生産開始                       |
| 平成12年 (2000) | 「ISO14001」の認証を取得                               |
| 平成14年 (2002) | 浄化槽製造における「ISO9001」の認証を取得                       |
| 平成15年 (2003) | カラーベスト部門が松下電工と合併し、分社独立<br>(新会社名 クボタ松下電工外装株式会社) |

## 4 環境方針

### ▶ ISO環境方針

#### 方針

滋賀工場は、下流に近畿の水瓶・琵琶湖を控えた湖南工業団地に立地し、快適な住生活環境づくりを目指して、屋根材及び浄化槽・浴槽等の住宅関連製品を設計・生産している。

当工場は、企業の社会的責任として環境調和型創造企業を目指し、行動指針を以下の通り定め、地域・湖国及び地球の環境保全の向上に貢献する。

1. 製品の研究・開発及び製造過程、並びに物流・品質クレーム対応等、“活動”、“製品”“サービス”を対象として次の課題に取り組む。

省エネルギーの推進

廃棄物の減量化並びに資源再利用の推進

水質・大気の排出管理の維持強化

環境影響の最小化を目指した製品開発

2. 継続的な環境改善と汚染の予防に努める。
3. 環境関連法、条例、その他の要求事項を遵守する。
4. ISO14001規格に基づいた環境マネジメントシステム構築により、環境の目的・目標を設定し、実行すると共に、定期的レビューを行う。
5. 本方針は、文書等で「工場働く人」全員に周知し、意識の高揚と確実な実行を図る。

### ▶ ISO認証取得状況

平成12年 5月

「ISO14001」認証取得

平成14年 5月

浄化槽・浴槽製造における「ISO9001」認証取得

## 5 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2007年度		
				目標	成果	自己評価
循環型社会の形成	産業廃棄物総排出量の削減	排出量	2004	基準比 10%	61.1%達成	
	ゼロ・エミッション化	埋立廃棄物比率	-	1.0%未満	0.2%	
地球温暖化防止	温室効果ガス削減	CO <sub>2</sub> 原単位	2003	基準比 3.0%	1.6%	×
	CO <sub>2</sub> 総排出量	t - CO <sub>2</sub>	1990	基準期以下	10.8%達成	
	物流のCO <sub>2</sub> 削減	t - CO <sub>2</sub>	2006	-	-	-
有害化学物質の削減	PRTR対象物質の削減	スチレン排出量(大気への排出)	2006	基準年度以下	8,513kg	

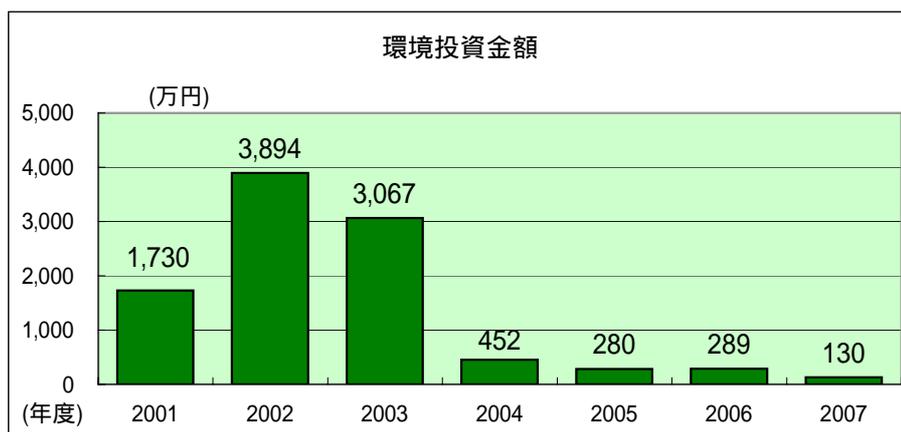
自己評価の基準 : 目標超過達成 : 目標達成 : 目標一部達成 × : 目標未達成

## 6 環境会計

### 環境投資

2007年度: 130万円

- ・飛地廃プラスチック置場周囲壁設置による環境改善
- ・FRP工場 鳩侵入防止対策による作業環境改善



### 環境保全効果

効果の内容		2006年度	2007年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	68,004	63,911	4,093	94.0%
	水使用量(m <sup>3</sup> )	223,685	182,545	41,140	81.6%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO <sub>2</sub> 排出量(t)	-	-	-	-
	SO <sub>x</sub> 排出量(t)	-	-	-	-
	NO <sub>x</sub> 排出量(t)	-	-	-	-
	ばいじん排出量(t)	-	-	-	-
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	37.4	28.8	8.5	77.1%
	廃棄物排出量(t)	394.0	253.1	140.9	64.2%
廃棄物埋立量(t)	1.0	0.9	0.1	89.7%	

### 経済効果

2006年度: 36万円

定期的なエア洩れ・蒸気洩れ補修で36万円/年のロス低減と推測

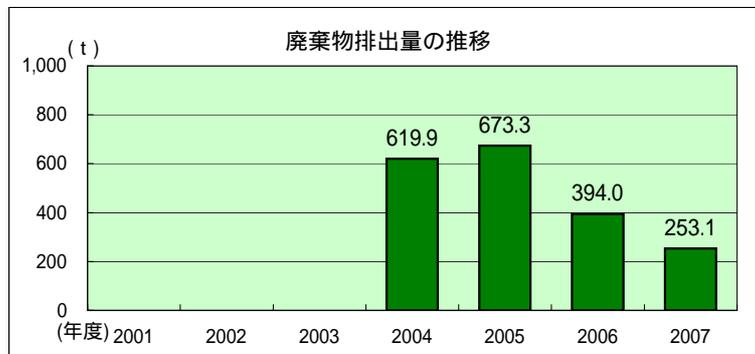
分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	エア洩れ・蒸気洩れ補修(年2回)	36万円
ゼロ・エミッション化対策	特になし	
物流環境保全対策	特になし	
合計		36万円

## 7 環境パフォーマンス

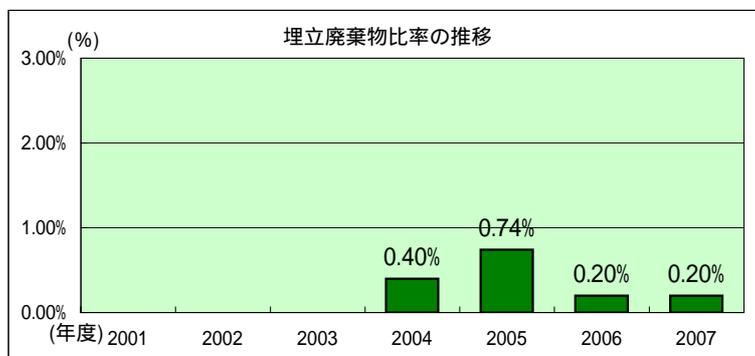
### 循環型社会の形成

#### 廃棄物排出量の削減

PPフィルム(廃プラスチック)の有価物化、良品率の向上等を図り、廃棄物排出量低減を実現しました。



#### ゼロ・エミッション



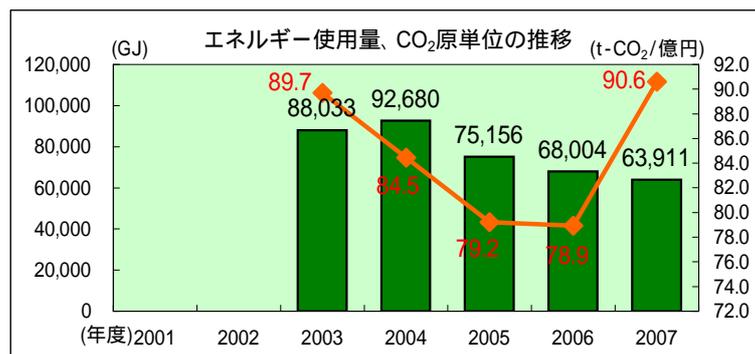
2004年、当工場は”クボタ松下電工外装株式会社”と分離しました。それ以前のデータに継続性が無い為、2003年以前のデータは未掲載とさせていただきます。

### 地球温暖化の防止

#### 省エネルギー、 温室効果ガスの削減

112～113期データ無し

◆ CO<sub>2</sub>原単位 (t-CO<sub>2</sub>/億円)  
■ エネルギー使用量 (GJ)



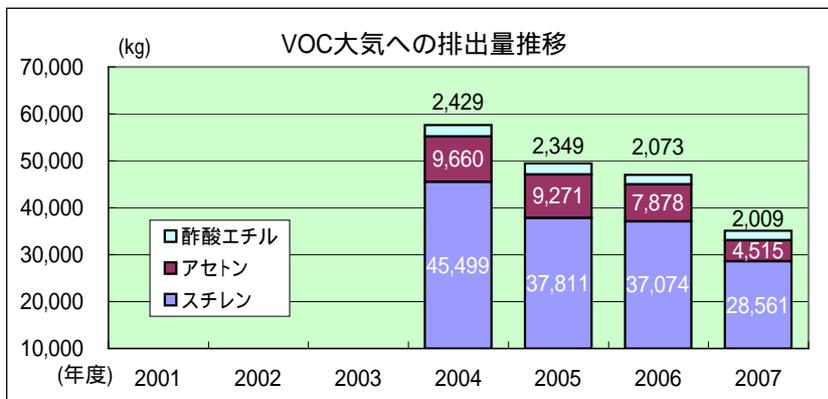
#### CO<sub>2</sub>総排出量の削減

112～113期データ無し



# 滋賀工場

## 有害化学物質の削減 VOC大気排出量の削減



## PRTR法対象物質の排出量・移動量

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
0009	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	-	-	-	-	-	210
0177	スチレン	28,561	-	-	-	-	-
0270	フタル酸ジ-n-ブチル	-	-	-	-	-	48

## 8 環境コミュニケーション

### 地域美化活動

名称 工場周辺一斉清掃  
日付 2007年6月12日, 11月30日  
参加人数 クボタ10名, Kmew10名



## 滋賀工場

## 9 サイトデータ

## ▶ INPUT

項目	単位	使用量	熱量換算GJ	
エネルギー	電気	万kWh	336	32,343
	石炭コークス	t	0	0
	都市ガス	千m <sup>3</sup>	686	31,568
	灯油	k	0	0
	軽油	k	0	0
	重油	k	0	0
	LPG	t	0	0
	他		0	0
	合計		-	63,911

水使用量	万m <sup>3</sup>	0.2	(工業用水 0.2万m <sup>3</sup> /日 契約 Knewと共同で入水)
------	-----------------	-----	--

## ▶ OUTPUT

CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub>	2,653
---------------------	-------------------	-------

放流先	項目	単位	排水口名		排水口名		排水口名	
			規制値	測定値	規制値	測定値	規制値	測定値
公共用水域	pH	-	5.8 ~ 8.6	6.9			(特定施設なし)	7.2
	BOD	mg/	30	2				4
	COD	mg/	20	3				9
	窒素	mg/	40	4.50				4.90
	りん	mg/	1	ND				0.10
	六価クロム	mg/	0.35	ND				ND
	鉛	mg/	0.1	ND				ND
	COD総量規制値	kg/日	113	12.8				
	窒素総量規制値	kg/日	110	16.4				
	りん総量規制値	kg/日	14	0.208				
下水道	pH	-	5.7 ~ 8.7	7.3	5.7 ~ 8.7	7.5		
	BOD	mg/	300	3	300	3		
	COD	mg/	-	3				
	SS	mg/	300	2	300	6		

廃棄物排出量	t	253.1
再資源化率	%	90.1